

写

国大協企画第 30号

平成19年2月21日

文部科学大臣

伊 吹 文 明 殿

社団法人 国立大学協会

会 長 相 澤 益 男

留学制度の改善について（要請）

貴職におかれましては、国立大学法人の運営等に関し日頃から格別なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本協会国際交流委員会（委員長：宮原秀夫大阪大学長）では、かねてから我が国における留学生制度の諸問題の解決策に取り組んできましたが、このたび、別添のとおり報告書「留学制度の改善に向けて」を取りまとめました。

この報告書は、全87国立大学へのアンケート結果の分析を踏まえ、留学生の質の確保、留学生の受入体制の強化、留学生の処遇、留学生の卒業後のフォローアップ体制、日本からの学生派遣の増加の5項目について、本協会と貴省担当部局、(独)日本学生支援機構との協議を含む調査検討の結果を取りまとめたものであります。

留学制度の改善については、留学生の派遣・受入れの衝にあたる各大学の自助努力が基本となることは言うまでもありませんが、その制度的な仕組みや運営方針、特に財政措置については、政府のご理解と積極的なご支援なくしては実効を欠くものとなります。

本協会は、公・私立大学とも問題認識を共有しつつ、今後とも留学生制度の充実に向け努力いたしますので、政府におかれても今回の本協会からの提言を今後の留学生政策に反映していただくよう要請します。